

平成 2 8 年

亀山市教育委員会第 4 回臨時会会議録

亀山市教育委員会第4回臨時会会議録

1. 日 時

平成28年5月18日（水）17時15分開会

2. 場 所

亀山市役所西庁舎3階 第5会議室

3. 出席委員

1番委員 教育長職務代理者（以下職務代理という。）

井 上 恭 司

2番委員 大 萱 宗 靖

3番委員 宮 村 由 久

4番委員 太 田 淳 子

4. 欠席委員

なし

5. 議事参与者

教育次長 大 澤 哲 也

教育総務室長（以下総務室長という。） 原 田 和 伸

学校教育室長（以下学校室長という。） 中 原 博

教育研究室長（以下研究室長という。） 伊 達 弘

生涯学習室長（以下生涯室長という。） 亀 山 隆

図書館長 井 上 香代子

教育総務室主幹（書記） 木 崎 保 光

教育総務室主任主事（書記） 三 井 直 子

6. 会議録署名者指名

2番委員（大 萱 宗 靖 委員）

4番委員（太 田 淳 子 委員）

7. 議事

職務代理 議案第18号「平成28年6月亀山市議会定例会教育行政現況報告について」を上程し、事務局の説明を求める。

教育次長 平成28年6月亀山市議会定例会に提出する教育行政現況報告を別紙のとおり策定するについて、委員会の議決を求めます。

（事務局により教育行政現況報告を朗読する。）

職務代理 議案第18号について、質問を求める。

大萱委員 4ページ目の図書館について、前館長のスローガンである「求めていることのヒントが見つかる柔らかい場所」との記載があるが、今年も引き継いでいくということか。引き継ぐのであれば意味を理解して行っていただきたいと思う。

図書館長 これまでのスローガンを引き継いでいきたいと思っています。室の使命・目標にも掲げており、そう変えるというものではないと考えています。

宮村委員 「求めていることのヒントが見つかる柔らかい場所」という表現を初めて見て、情調的な言葉であり行政用語としてなじまない気がした。どこかで使っている例があるのか。それとも亀山市マターなのか。

図書館長 来館者の方にお越しいただきやすい雰囲気を作り出すという表現として「柔らかい」という言葉を選ばせていただいたと理解をしています。この表現は、どこかで使っている言葉の引用ではなく、亀山市独自のものと理解しています。

職務代理 昨年から使っている言葉であり、何度か話題になっている。今年もこのスローガンでいくというのが図書館長の強い意志であるということでしょうか。

図書館長 はい。

宮村委員 1点目は「取り組み」という言葉の整理である。1ページ下から11行目は「体系的な取組を進めていく」、同ページ最終行は

「取り組んでいく」、2ページ下から6行目「取り組みを実施しています」、同ページ最終行は「取組を進めてまいります」となっているが、ばらばらにする意図がないのであれば統一したほうが良いのではないか。また、4ページ下から9行目「切れ目のない細やかな取り組みに努めてまいります」という表現は取組に努力するということであり、より計画の熟度が低く思う。同じ熟度であるのであれば、これも統一した方が良いのではないか。

もう1点確認したい。教育行政現況報告は定例議会に進捗状況を報告するものだとして理解している。今回報告する内容は3月に前教育長が述べた教育行政の一般方針との整合性はあるのか確認をしたい。

教育次長 まずは「取組」の基本的な使い方について、総務室長からルールを説明させていただきます。

総務室長 「取り組み」の送り仮名を使う場合と使わない場合については、単語として使う場合は送り仮名はなし、文書として「取り組んでまいります」と使う場合は送り仮名を使用します。今回お示しした現況報告については、そのルールに則り再度確認させていただきます。

生涯室長 4ページ目で使用している「切れ目のない細やかな取り組みに努めてまいります」の部分ですが、自立支援の言葉の置き換えをしています。よって、「切れ目のない細やかな支援に努めてまいります」に修正させていただきたいと思います。

教育次長 今回お示しした現況報告と教育行政の一般方針との整合性についてですが、教育行政の一般方針と確認をしながら現況報告を作成しています。

太田委員 まず、土曜授業について伺う。2ページ下から3行目の教育研究関係の報告に土曜授業について書かれていない。平成28年度の教育行政の一般方針では土曜授業を推進していくとなっていたと思うが、現況報告に記載がなくてもよいのか。

次に、4ページ15行目の青少年総合支援センターについて伺う。3月の時点では「今年はあり方について検討していくもの」と理解していたが、現況報告では「連携を深めてまいります」と記載されている。今年は検討するのか連携を深めるのかどちらなのか。

最後に、図書館の内容について伺う。図書館の現況報告が3月はハード面ばかりだったのに対し、今回はソフト面ばかりに思う。今回ハード面は記載しなくてよいのか。

教育次長

土曜授業について、教育行政の一般方針の当初には記載があったかもしれませんが、最終的に整理されたものについては記載がありません。今年度も土曜授業を7回実施しますが、現況報告に記載がないということの考え方については、研究室長からご説明いたします。

図書館の報告についてですが、ハード面におきまして庁内で検討チームが設置されています。これまで会議が1回開催され、生涯室長と図書館長も参加いたしました。その会議内容について、現況報告に載せるレベルに達していないと市長部局が判断したことから、教育委員会も図書館についてハード面は載せず、ソフト面のみの報告としたということでご理解いただきたいと思えます。

研究室長

土曜授業について、教育次長がお答えした内容の考え方についてご説明いたします。

教育行政の一般方針の最終案では、土曜授業について特化した記載はございません。しかし、亀山市学力向上推進計画について記載しており、その計画の中で「平成29年度まで土曜授業を年間7回行う」と記載しています。今回の現況報告においても「亀山市学力向上推進計画」に則り、取組を進めてまいります」と記載することにより、土曜授業に関する内容も含まれているとご理解いただきたいと思えます。

生涯室長

青少年総合支援センターについてお答えします。

青少年総合支援センターは今年度の大きな柱であることに変わりはありません。生涯学習計画及び市の総合計画の中の位置づけも含めて現在すでに検討を進めています。よって、今回の現況報告では、3月の一般方針を繰り返すのではなく、方策の1つを記載する意味で「連携を深めてまいります」としています。

職務代理

今回出された意見及びそれに対する回答に対し、事務局で修正していただき、最終的には私に一任していただくとし、議案第18号について、可決することに異議はないか。

(異議はなく、議案第18号は可決される。)

8. その他

事務局 特になし

9. 閉会

17時45分